

名前 ナツツバキ(夏椿、沙羅の木)

場所 テラコッタパーク

ナツツバキの花は花びらに細かなヒダ、外縁には細かなギザギザがあり、見るからに柔らかそうです。

一日花で朝咲いて夕方にはすぐ落ちてしまう繊細な花です。沙羅の木という別名もあります。



名前 ギンバイカ(銀梅花)

場所 土・どろんこ館



駐車場から土・どろんこ館へ上る坂道の左手に銀梅花の花が咲き始めました。細いオシベがギッシリ生えて花びらが隠れてしまいそうです。

ヨーロッパではブライダルブーケに使われるほか、マートルという名前でハーブとしても使われるそうです。



名前 ノウゼンカズラ(凌霄花)

場所 第一駐車場



下の写真はテラコッタパークに咲いているノウゼンカズラですが、こちらはやや花筒が細く、アメリカノウゼンカズラという品種のようです。土・どろんこ館のシャワー場に咲いているのもこの品種です。



ノウゼンカズラは盛夏を代表する花のイメージが強いですが、暑さを反映してか6月の初めから咲き始めました。「凌霄花」は漢名で、霄(そら)を凌(しの)ぐように高く昇る花という意味のようです。この樹も第一駐車場から上の土・どろんこ館まで蔭を這わせています。

名前 ギボウシ(擬宝珠)

場所 建築陶器のはじまり館



ギボウシは通常、葉を楽しむ目的で植えられることが多い植物ですがこの時期だけ花も楽しめます。

どちらかと言えば日陰を好む植物でここでも建築陶器のはじまり館の北側の日陰にそっと植えられています。